



## カビとフレミングのくしゃみ

客員 相談役 藤井 基之

落語家の林家木久扇（前木久蔵）さんが、彼のお師匠さんの林家彦六師匠のエピソードとして、こんな話をしていました。

『弟子達が集まって、腹が減ったので、皆でお餅でも食べようということになった。ところが台所から持ってきた餅がカビだらけ。弟子達が、「なんで、カビが生えるんだらう」と騒いでいると、そばで聞いていた彦六師匠。「バカヤロウ。早く食わねえからだ!」

カビはどうして生えるのか。カビは、**真菌**という菌類の一種です。酵母やキノ「も同じ真菌に属します。カビは、孢子から菌糸を伸ばして、食べ物や家の壁など、至るところで孢子を増やして繁殖していきます。」

六月、梅雨の季節は「カビの季節」でもあります。カビは漢字では「黴」と書きますが、「バイ」とも読み、梅雨は、もとは「黴雨」とも書かれていたようです。

梅雨頃の気温と湿度がカビにとってはベストの繁殖環境です。カビは食べ物に生えたり、病気の原因になったり、大変なヤツカイものですが、人間の役に立っているものも沢山あります。古事記に「可美葦牙彦舅尊（うましあしかびひこぢのみこと）」という神様が登場します。これは、味噌、醤油、酒などをつくるなど、人間に沢山の恵みを施してくれるということで、神様の名前にまで「カビ」が出てくるのだそうです。

ところで、カビは病気の原因ともなりますが、一方では医薬品づくりに也大いに役立って来ました。最も有名なのは世界最初の抗生物質、ペニシリンです。ペニシリンは、カマンボールチーズなどのチーズづくりに使用されるカビの仲間の「アオカビ」からつくられました。

ペニシリンは、イギリスのフレミングという学者が、全くの偶然から発見しました。彼の実験ノートに次のよ

うなことが記録されているそうです。一九二八年のある日、「実験中にクシャミをした。翌日、研究室で、実験台に残っていた培地（実験のために、細菌などを増やすためガラス皿などに栄養分を含ませたもの）を廃棄しようとしてみると、クシャミで飛んだ粘液中の細菌が増殖していた。ところがよく見ると、培地のアオカビが生えていた周りだけ細菌が増えていなかった」

これは、このアオカビによって細菌の生育が阻止されているのではないかと気付き、これからヒントを得て抗生物質を発見したというわけです。彼は、アオカビの学名 Penicillium にちなんで、「ペニシリン」と名付けま

した。これを契機に、多くの抗生物質が発見されました。医薬品は草根木皮から出発し、その有効成分を抽出し、また、ペニシリンのように微生物から抗生物質を発見し、さらには人の手で化学合成するなど、その開発技術は発展してきました。さらに今日では、遺伝子科学、バイオテクノロジーを駆使して、新しい医薬品を創り出す時代となっています。

もしもフレミングが実験室でくしゃみをしなかったら。未だに結核や肺炎、その他色々な感染症に多くの人たちが苦しんでいたかもしれません。

ふじい もとゆき  
藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条  
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会造りです。  
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。  
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告  
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴  
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和44年 厚生省入省  
平成9年 厚生省退官  
平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団専務理事  
平成12年 日本薬剤師連盟副会長  
社団法人 日本薬剤師会常務理事  
平成13年 参議院議員  
平成16年 厚生労働大臣政務官 (平成16年9月~平成17年11月)
- 党・県連関係役職  
自民党厚生関係団体、労働関係団体副委員長  
自民党新聞局次長  
自民党医療基本問題調査会、薬事行政のあり方検討小委員会事務局長
- その他役職  
昭和大学薬学部 客員教授  
共立薬科大学 客員教授  
東邦大学薬学部 客員教授  
新潟薬科大学 客員教授  
千葉大学薬学部 非常勤講師  
京都薬科大学 客員教授  
日本薬剤師連盟 相談役